

平成 24 年度

# 海上防災訓練のご案内

(登録講習コース・一般常設コース・専用コース)

平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月

独立行政法人

海上災害防止センター 防災訓練所

## 目 次

I. 防災訓練コースについて	P1
II. 登録講習コース	P1～3
1. 登録講習コースについて	
2. 登録講習コースの種別と概要について	
3. 登録講習コースのカリキュラムについて	
III. 一般常設コース	P4～6
1. 一般常設コースについて	
2. 一般常設コースの概要とカリキュラムについて	
(1) 油防除専門訓練コース	
(2) コンビナート等消防訓練コース	
(3) 旅客船乗組員向けの訓練コース	
(4) 消防実習のみの訓練コース	
IV. 専用コース	P7
V. 平成 24 年度訓練実施計画と受講料等について	P8～10
1. 訓練実施計画について	
2. 受講料等について	
3. 受講申込方法等について	
4. 受講者の変更について	
5. 受講等を取り消す場合の料金の返納について	
VI. 受講に際しての注意事項等について	P10～12
1. 受講者の健康状態等について	
2. 集合場所・時刻及び訓練日程について	
3. 必要書類・物品について	
4. 宿泊施設の利用について	
VII. 修了証書等について	P13
1. 修了証書	
2. 英文修了証	
3. 再発行申請について	
別表等	P14～
・平成 24 年度海上防災訓練実施計画	別表 1
・海上防災訓練受講料等一覧	別表 2
・申込書様式、受講申込規約	
・申込書記入要領	

## I. 防災訓練コースについて

独立行政法人海上災害防止センター（以下「センター」と言います。）では、神奈川県横須賀市の防災訓練所（研修所）（以下「研修所」と言います。）において、船舶、コンビナート、ガス貯蔵施設等、様々な状況における事故を想定した大規模かつ本格的な実習を取り入れた、実践的な防災訓練講習を行っております。なお、後載の各訓練コースの説明において、対象者を例示しておりますが、訓練の受講に関して年齢・資格等による制限は無く、どなたでも受講することが出来ます。

## II. 登録講習コース

### 1. 登録講習コースについて

船員法に則り、国土交通大臣の認定を受けて、「甲種危険物取扱責任者講習」「安全担当者講習」「有害液体汚染防止管理者講習」を開講しております。

### 2. 登録講習コースの種別と概要について

#### (1) 甲種危険物等取扱責任者講習

油タンカー、液体化学薬品タンカー、液化ガスタンカー（以下「油タンカー等」と言います。）に上級職員として乗り組むために必要な「甲種危険物等取扱責任者」の登録講習として、消防講習と学科講習を併せて行う「標準コース」(10回/年)と、消防講習のみを行う「消防実習コース」(8回/年)の2コースを実施しております。乗り組む船舶の種類や職種に応じて、必要な講習が選択できます(下表参照)。

	船長 ・ 一航士		機関長・一機士
	学科講習（座学）	消防講習（消防実習）	消防講習（消防実習）
沿海	いずれか1名は必要	2名とも必要	2名とも必要
近海・遠洋	2名とも必要	2名とも必要	2名とも必要

#### (2) 安全担当者講習

船員労働安全衛生規則に基づく「安全担当者」の登録講習として、「標準コース」を実施しております。従って、「標準コース」を修了した方は、「甲種危険物等取扱責任者資格」と「安全担当者資格」が認定されます。

#### (3) 有害液体汚染防止管理者講習

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律施行規則に基づく「有害液体汚染防止管理者」の登録講習として、「有害物質コース」(1回/年)を実施しております。

### 3. 登録講習コースのカリキュラムについて

#### ▼標準コース（5日間）

区分	標準コース（甲種危険物等取扱責任者講習、安全担当者講習）					
対象	油タンカー等の船長、一等航海士を含む船舶乗組員等					
訓練概要	5日（座学2日＋油火災消防実習等2日＋流出油対応実習等1日）					
	船舶火災・海上火災・油流出などの緊急事態に際して、正しい判断によって災害を最小限に抑止するための知識を習得し、実習を通してそれを体得する訓練					
	第1日	0840～0920	日程等説明	第3日	0900～1700	船舶火災消防実習 （丸タンク・角タンク・模擬機関室）
		0930～1200	火災・爆発のメカニズム		第4日	0900～1000
	1300～1350	発火源について	1000～1700	消防実習（液化ガス・ケミカル火災の消火及び保護具・検知器の取扱い）		
1400～1520	消火剤について	第5日		0900～0950		石油類の性状と経時変化
1530～1700	海上防災関係法規（船員法・海防法等）		1000～1130	流出油の処理		
第2日	0900～1200	タンカーの構造・設備、実務	1230～1630	油防除実習		
	1300～1520	消火設備・防火構造・消火作業	1630～1700	判定試験、修了式等		
	1530～1700	保護具・検知器の取扱い				

#### ▼消防実習コース（2日間）

区分	消防実習コース（甲種危険物等取扱責任者講習〈消防講習のみ〉）					
対象	油タンカー等の機関長、一機士（又は船長、一航士）及び消防関係者など					
訓練概要	2日（火災消防実習1日＋流出油防除実習等1日）					
	基本的な油・液化ガス等の消防活動、器具の取扱い等を実習を通して体得する訓練					
	第1日	0830～0850	日程等説明	第2日	0830～0850	日程等説明
		0850～1150	油火災消防実習		0850～1000	船内捜索訓練等
		1250～1550	液化ガス・液体化学薬品消防実習		1000～1200	保護具・検知器取扱実習
1600～1700		自給式呼吸装置装着訓練	1330～1630		油防除実習	
			1630～1700	判定試験等		

※ センターの「消防実習コース（2日間）」と、他の講習機関が実施する登録講習（「甲種危険物等取扱責任者講習（学科講習）」、「タンカー安全担当者講習」）を別々に受講することも可能です。

その場合は、下記の実施機関にお問合せのうえ、他の講習機関とセンターのそれぞれに申し込みをする必要があります。

（学科講習実施機関）	・ 船員災害防止協会	（TEL：03-3263-0918）
	・ 尾道海技学院	（TEL：0848-37-8111）
	・ 関門海技協会	（TEL：0832-66-4029）

## ▼有害物質コース（3日間）

区分	有害物質コース(有害液体汚染防止管理者講習)			
対象	有害液体物質を取り扱うタンカーの乗組員、関連企業の従業員など			
訓練概要	3日(座学2日+有害液体物質検知・消防実習1日)			
	有害物質を取り扱うための知識を取得し、実習を通して有害液体物質の防除及び消火活動、防護資機材・検知器の取扱い等を体得する訓練			
	第1日	0840～0910 日程等説明 0920～1200 保護具・検知器の概要及び取扱い 1300～1700 有害液体物質の性状	第2日	0850～1050 有害液体物質の取扱い 1100～1200 関係法規 1300～1420 有害液体物質の防除処理 1430～1700 有害液体物質防除資器材の取扱い実習
			第3日	0900～1630 総合実習 1630～1700 判定試験等

※ 「甲種危険物等取扱責任者」「安全担当者」「有害液体汚染防止管理者」の資格認定には、「登録講習修了証明書」が必要となります。センターでは、登録講習コースの修了に際して行われる判定試験に合格した受講生に対して、「登録講習修了証明書」を即日発行しております。

○「標準コース」の場合

「甲種危険物等取扱責任者講習修了証明書(消防講習・学科講習)」  
「安全担当者講習修了証明書」

○「消防実習コース」の場合

「甲種危険物等取扱責任者講習修了証明書(消防講習)」

○「有害物資コース」の場合

「有害液体汚染防止管理者講習修了証明書(消防講習・学科講習)」

※ 船員法の規定に基づく危険物等取扱責任者の資格の有効期限は5年間であり、この期間中に資格を更新しないと、資格が無効となります。更新には、所定の乗船履歴(業務従事経歴)や、規定に基づく「更新講習会」の受講が必要となります。

船員災害防止協会では、通信教育による「更新講習会」を行っております。

### Ⅲ. 一般常設コース

#### 1. 一般常設コースについて

主に関係機関・団体、各企業の防災関係者等を対象とした、石油・ガス・有害物質等による災害に対応するための防災訓練コースを常設開講しております。

#### 2. 一般常設コースの概要とカリキュラムについて

##### (1) 油防除専門訓練コース

IMO 流出油防除訓練カリキュラムに準拠した、流出油防除対応関係者向けの訓練コースです。

区分	海洋汚染対応コース					
対象	流出油防除措置実施企業、油保管施設・係留施設、地方公共団体等の環境保全担当者など流出油防除対応関係者					
訓練概要	5日（座学2日 + 油防除実習3日）					
	タンカー事故等による海洋の油汚染や陸岸から海上への油流出による汚染を想定した洋上浮流油及び沿岸漂着油への対処、油濁防止緊急措置の検討・評価、想定流出油事故に対応するための組織化・マスコミ対応を体得するロールプレー実習、実際に油を使用する海岸清掃実習など、あらゆる海洋汚染事故に対応した訓練					
概要	第1日	0840～0900	日程等説明	第3日	0830～0930	自然環境への油の流出
		0900～1030	流出油の種類及び性状		0930～1200	海岸清掃
要		1030～1200	事故事例		1300～1730	海上回収、海岸清掃実習
		1300～1400	拡散防止措置	第4日	0830～1200	緊急時計画の立案等
		1400～1700	各種オイルフェンス取扱い実習		1300～1600	総合沿岸汚染実習
	第2日	0830～0930	流出油の回収		1600～1700	総合沿岸汚染実習評価会
		0930～1030	流出油防除関係法規	第5日	0830～0930	事故対応時の費用対効果
		1030～1200	現場の安全・広報活動		0930～1200	ロールプレー組織化
		1300～1430	油処理剤		1300～1530	ロールプレー
		1430～1700	各種油回収装置取扱い実習		1530～1700	ロールプレー評価会

(2) コンビナート等消防訓練コース

油貯蔵施設・危険物管理施設における火災等の緊急事態に迅速かつ適切に対処する能力の向上を目的とした、コンビナート防災関係者向けの訓練コースです。

区分	コンビナート火災コース			
対象	コンビナート企業、電力会社等の幹部職員、自衛消防員、地方公共団体等の消防・防災関係者など			
訓練概要	5日（座学1日＋コンビナート火災消防実習4日）			
	油貯蔵施設における火災等の緊急事態に直面した際、迅速かつ適切に対処するための指揮命令要領や組織の運用要領、火災に対する戦略・戦術などの専門的知識及び高度な消火技能を習得し、火災現場をリアルに再現した消防実習を通して指揮者に要求される状況判断能力、指揮運用能力を向上させる訓練			
	第1日	0840～0900 日程等説明 0900～1200 火災・爆発・発火源 1250～1530 消火方法 1530～1700 保護具・検知器	第4日	0850～1200 指揮運用要領等の座学 1300～1700 機械室、室内及びパイプライン等火災消防実習、自給式呼吸具取扱実習
	第2日	0850～1700 油貯蔵タンク等火災消防実習	第5日	0850～1700 石油コンビナート関連施設等の複合火災消防実習 (研修生の指揮運用による複合火災消防実習)
	第3日	0850～1700 ベーパー回収装置等液化ガス火災消防実習		

区分	コンビナート火災マネジメントコース			
対象	コンビナート企業、電力会社等の幹部職員、自衛消防員など			
訓練概要	5日（座学2日＋コンビナート火災消防実習3日）			
	石油コンビナート等の火災における事前計画策定、消火隊の指揮・管理能力向上のための模擬プラント消防演習及びジオラマ模型・コンピューターシミュレーション・スケールダウン油タンクを駆使した大規模油タンク火災消防実習などを通して、防災管理者の火災対応能力を向上させる訓練			
	第1日	0840～0910 日程等説明 0920～1050 火災・爆発のメカニズム 1100～1200 危機管理・指揮運用要領 1300～1700 コンビナート施設火災消火戦術	第4日	0840～1200 ・コンビナート施設火災消火机上演習 ・ジオラマ演習 ・コンピューターシミュレーション演習
	第2日	0850～1700 火災消防実習 コンビナート施設火災消火事前計画策定演習及び消防実習-1	第5日	1300～1430 同上評価演習 1440～1700 スケールダウン・コンビナート施設火災消火事前計画策定演習
	第3日	0850～1700 火災消防実習 コンビナート施設火災消火事前計画策定演習及び消防実習-2		0930～1430 スケールダウン・コンビナート施設火災消防演習 1510～1610 演習/コース評価 1620～1700 閉講式

区分	コンビナートコース			
対象	コンビナート企業の保安要員、油保管施設及び係留施設の保安担当者など			
訓練概要	4日（座学1日＋油火災消防実習1日＋液化ガス火災消防実習等1日＋流出油防除実習1日）			
	船舶火災・ターミナル火災・海上への油流出などの緊急事態に的確に対処するための基礎知識を習得し、実習を通して消火及び流出油防除の手順を体得する訓練			
	第1日	0840～0900 日程等説明 0900～1200 火災・爆発・発火源 1250～1530 事故事例・消火方法 1530～1700 保護具・検知器	第3日	0850～1730 コンビナート液化ガス等消防実習・自給式呼吸具取扱実習
	第2日	0850～1700 コンビナート油火災消防実習	第4日	0850～1200 流出油事故への対応・緊急時計画の立案 1250～1700 流出油防除実習

### (3) 旅客船乗組員向けの訓練コース

船内、客室、機関室などにおける火災の消火や探索救助・避難誘導などの訓練を行う、旅客船乗組員向けの訓練コースです。

区分	旅客船コース			
対象	フェリー・旅客船乗組員など			
訓練概要	3日（座学1日＋油火災消防等実習2日）			
	船室火災等の緊急事態に的確に対処するための基礎知識を習得し、実習を通じて消火及び探索救助・避難誘導活動等の手順を体得する訓練			
	第1日	0840～0900 日程等説明 0930～1200 火災の概念 1300～1530 船室火災消火法 1530～1700 救命救急実習	第2日	0850～1600 消防実習 探索救助・避難誘導訓練
			第3日	0850～1700 消火器実習、機関室、船室等の各火災消防実習

### (4) 消防実習のみの訓練コース

火災消火の手順等を短時間で体得できる基本的な訓練コースです。

区分	消防実習コース（1日）			
対象	消防関係者など			
訓練概要	基本的な火災消火の手順等を実習を通して体得する訓練			
	0830～0850	日程等説明		
	0850～1150	油火災消防実習		
	1250～1550	液化ガス・液体化学薬品火災消防実習		
1610～1700	自給式呼吸装置装着訓練			

## IV. 専用コース

センターに蓄積されたノウハウを活用し、企業・地方公共団体等のご希望に応じて「専用コース」を開講しております。国土交通大臣の告示で定める講習基準に則った訓練項目を組み合わせることで、希望する能力を効果的に向上させる訓練が実施できます。「専用コース」の訓練内容及び日数、受講料等につきましては、お気軽にセンターにご相談ください。

区分	専用コース
対象	火災消防関係、電力関係、海洋環境保全環境関係の企業・地方公共団体など
訓練概要	10名～
	1日～5日間
	受講料は希望する訓練項目によって異なる。契約後、見積書等を提示する。
	センター消防演習場を使用した本格的な実習等を通して、希望する能力を向上させる訓練。訓練内容は登録講習コース・一般常設コースと同様、国土交通大臣の告示で定める講習基準に則ったものであり、複数の項目（「主な訓練項目例」参照）を組み合わせることが可能。

### ※ 主な訓練項目例

- ・油火災消防実習
- ・液化ガス、有害液体物質等による火災消防実習
- ・油貯蔵タンク、防油堤内等における油火災消防実習
- ・ベーパー回収装置、液化ガスタンク、タンク・ローリー車等における火災消防実習
- ・暗所・閉所における行方不明者捜索救助訓練
- ・海上浮流油に係る防除実習
- ・沿岸漂着油に係る防除実習
- ・流出事故を想定した机上訓練
- ・各種流出油防除資機材の取扱い実習
- ・各種流出油防除資機材の性能試験
- ・流出油事故に係る緊急時における計画立案及び評価、など

## V. 平成 24 年度訓練実施計画と受講料等について

### 1. 訓練実施計画について

平成 24 年度の訓練実施計画は、**別表 1**のとおりです。ただし、受講申込者が 10 名未満の場合、コースが中止となる場合がございますので、予めご了承ください。

### 2. 受講料等について

(1) 各訓練コースの受講料及び施設利用料（以下「受講料等」と言います。）は、**別表 2**のとおりです。

なお、各受講料には訓練期間中の昼食費が含まれています。

(2) 施設利用料とは、研修所に付属する宿泊設備に宿泊される方のみが負担する費用です。横須賀研修所での宿泊を希望される方は、受講申込時に申し込んでください。宿泊定員は最大 28 名で、申込順の受付となります。

**別表 2**の施設利用料は、訓練開始日から終了日の前日までの宿泊経費です。前泊及び後泊を希望される場合は、1 泊につき 3,500 円が加算されます。

なお、朝食及び夕食の供給はございません。持込、又は外食となります。

(3) 登録講習コース及び一般常設講習コースを受講される方は、受講料等を受講前に納入していただきます。受講申込受付後、「訓練参加費(受講料・施設利用料等)請求書」を送付いたしますので、指定された銀行口座に期日までに振り込んでください(振込手数料は受講者負担とさせていただきます)。

なお、指定した期日を過ぎても振り込みが確認できない場合、受講申込を取り消させていただきます場合もございます。

### 3. 受講申込方法等について

(1) 使用する受講申込書

- ・標準コース（甲種危険物等取扱責任者 + 安全担当者）
- ・消防実習コース（2 日間）（甲種危険物等取扱責任者）
- ・有害物質コース（有害液体汚染防止管理者講習）

→海上防災訓練受講申込書(登録講習用)

- ・登録講習以外の常設コース（海洋汚染対応、コンビナート火災、コンビナート火災マネージメント、コンビナート、旅客船、消防実習（1 日）各コース）

→海上防災訓練受講申込書

## (2) 受講申込方法

- ① 受講申込書を送付する前に、必ず受講希望講習の申込状況を電話等で確認してください。その際に「仮予約」として受講枠を仮押さえすることができます。ただし、正式な申し込みは申込書の受付をもって確定します。
- ② 講習開始の1ヶ月前までに本冊子に添付している「海上防災訓練受講申込書（登録講習用）」又は「海上防災訓練受講申込書」に必要な事項を記入の上、FAX又は郵送にて提出してください。その際、同申込書の裏面に記載している「受講申込規約」の内容を必ず確認してください。なお、受講の受付は申込順となりますので、なるべく早めに申し込んでください。特に、「標準コース」「コンビナート火災コース」については、講習の数か月前に受講定員に達してしまうことがありますので、十分ご注意願います。
- ③ 申込書受付後、訓練開始1ヶ月前を目安にセンターから「訓練参加費請求書」、「登録講習受講票」又は「受講票」及び「受講生心構え」を受講申込者又は申込責任者宛てに、送付します。

なお、諸般の事情により受講をお断りする場合は、電話で連絡します。

## (3) 年間予約について

年間を通じて計画的に防災講習を受講される場合、具体的な受講者が未定であっても講習の年間予約が可能です。

- ① 希望する講習ごとに「参加人数」のみを記入し、「年間予約」と明示して文書(様式は問いません)にてお申し込みください。  
なお、年間予約も申し込み順に受け付けますので、なるべく早めにお申し込みください。
- ② 年間予約で申し込まれた受講枠については、「仮予約」としての扱いになりますので、必ず各回の講習開始の1か月までに予約の再確認を行ってください。再確認の連絡は、電話・FAXのいずれでも結構です。再確認が行われないと、受講枠を取り消す場合がありますのでご注意ください。  
なお、再確認後に確定した受講枠を取り消した場合、キャンセル料の対象となりますので、その点にはご注意願います。
- ③ 予約の再確認後、「海上防災訓練受講申込書（登録講習用）」又は「海上防災訓練受講申込書」を提出してください。

#### 4. 受講者の変更について

申込時の受講者に代わって他の者が受講する場合は、その旨を事前に防災訓練所に連絡の上、新たに受講する方の「海上防災訓練受講申込書(登録講習用)」又は「海上防災訓練受講申込書」を提出してください。

#### 5. 受講等を取り消す場合の料金の返納について

受講料等を振込後に受講等を取消す場合は、1名につき次に掲げるキャンセル料が発生します。キャンセル料は返納する受講料等から差し引かせていただきます。

なお、日数計算は、講習開始日から起算し、土・日曜、祝日は計算に含めず、営業日でカウントします(【例】参照)。

(1) 受講のキャンセル料	
○ 料金振込後から講習開始日の4日前まで 及び、年間予約の再確認後のキャンセル……………	一律3,000円
○ 講習開始日3日前から講習開始前日まで……………	受講料の40%
○ 講習開始日……………	受講料全額
(2) 宿泊施設のキャンセル料	
○ 料金振込後から講習開始日の4日前まで……………	一律1,000円
○ 講習開始日3日前から訓練開始前日まで……………	施設利用料の40%
○ 講習開始日……………	施設利用料全額
※ 英文修了証の発行手数料…全額返納	

【例】

←受講 3,000 円/宿泊 1,000 円→			← 40% →					←100%
振込後、または 年間予約確認後 1ヶ月前	(月) 5日前	(火) 4日前	(水) 3日前	(木) 2日前	(金) 前日	(土)	(日)	(月) 訓練 開始日

## VI. 受講に際しての注意事項等について

### 1. 受講者の健康状態等について

(1) 講習を受講できるのは、実習訓練の実施に支障のない健康な方とします。健康な方でも消防実習等は相当ハードですので、訓練前日及び期間中は健康管理に十分注意してください。

- (2) 身体能力に重大な影響を及ぼすような持病のある方、過去1年以内に入院経験のある方、現在通院加療中の方は、原則的に講習を受講することができません。ただし、受講可能である旨の「医師の診断書」を持参できる場合は、受講を受け付けます。
- (3) センターでは、講習期間中、受講者に対して一般的な旅行傷害保険を付保しています。ただし、受講生自らの故意による傷害等センター側の過失以外に起因する傷害等については、その責を負えない場合があります。
- (4) 船舶で訓練、移動する機会が多いので、船酔いする虞のある方は、各自予防対策を講じて下さい。
- (5) 新型インフルエンザの疑いのある方は、訓練参加を見合わせてください。  
訓練期間中に受講生から新型インフルエンザ感染者が発生した場合、訓練を中止する場合があります。
- (6) 眼鏡使用者は、裸眼又はコンタクトレンズ着用で訓練に参加してください。水や蒸気などにより、訓練に支障が出る場合があります。

## 2. 集合場所・時刻及び訓練日程について

- (1) 講習開始日の08:30までに、研修所に集合してください（所在地等は本紙裏表紙に記載しています）。  
なお、研修所には駐車場がございませんので、公共機関をご利用ください。
- (2) 万一、遅刻しそうな場合には、研修所に連絡をお願いします。ただし、交通機関の事故等、交通機関の責めに帰する理由であっても、遅刻した場合には、受講をお断りする場合がございます。
- (3) 訓練日程(特に訓練の終了時刻)については、当日の気象海象等の状況により、変更する場合がございますが、センターでは、これに伴う列車・飛行機等のキャンセル・予約変更に関する一切の責任は負いません。

## 3. 必要書類・物品などについて

- (1) 受付時の必要書類  
「登録講習受講票」または「受講票」（氏名、現住所等所要事項を記入のうえ持参）  
※ 受講票がないと講習を受講できませんのでご注意ください。

(2) 実習時の必要品

- ・長袖作業服（綿製が望ましい）
- ・野球帽型の帽子（綿製が望ましい）
- ・タオル（綿製）、軍手
- ・替え下着（消防用水や汗で下着が濡れることがあるため）
- ・防寒着（秋・冬期。厚手の作業着、トレーナー、レインスーツ等）

※ 実習時に着用する靴はセンターで準備いたします。

(3) 修了証明書等交付時の必要品

- ・写真付きの身分証明書1点（船員手帳、運転免許証、海技免状など）
- ・印鑑

(4) その他

予め宅配便を利用して荷物を送付される方は、訓練開始日の前日15:00以降に配達されるよう指定してください。

#### 4. 宿泊施設の利用について

(1) 前日から宿泊される方は、講習開始日の前日の15:00～20:00に、研修所にお入りください。万が一、遅延・キャンセルする場合は、必ず研修所に電話連絡を入れてください。

(2) 研修所宿泊施設の浴室には、石鹸、シャンプーは備えておりますが、タオル、歯ブラシ等はございませんので、各自でご用意ください。

(3) 研修所宿泊施設が満室の場合、近隣のビジネスホテル等をご利用していただくことになります。なお、ビジネスホテル等の問合せ、予約等は各自でお願いいたします。万が一、予約などに関してトラブルが発生した場合でも、センターでは責任を負いかねます。

##### 【研修所近隣のビジネスホテル等】

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| ・ホテルパレス      | TEL：046-827-3000 |
| ・セントラルホテル    | TEL：046-827-1111 |
| ・ホテル横須賀      | TEL：046-825-1111 |
| ・ロイヤルホテル     | TEL：046-822-5931 |
| ・ビジネス旅館しろがね  | TEL：046-822-3032 |
| ・八百常(やおつね)旅館 | TEL：046-822-1377 |

## VII. 修了証書等について

### 1. 修了証書

訓練コースを修了した受講生には、修了証書を発行いたします。ただし、修了証書に法的な効力はございません。

### 2. 英文修了証

(1) 「標準コース」を修了した方には、希望により英文修了証を発行しております。ご希望の方は、「海上防災訓練受講申込書(登録講習用)」の「通信欄」に「英文修了証発行希望」とご記入ください。「英文修了証発行申請書」を配布いたしますので、必要事項を記入の上、訓練受付時に提出してください。なお、発行手数料1,500円は事前に請求いたします。

(2) 「消防実習コース(2日間)」のみを修了した方には英文修了証を発行しておりません。ただし、「消防実習コース(2日間)」を受講し、かつ他機関が開催する「学科講習」を受講された方は、「船員災害防止協会」に申請することで、英文修了証を取得することができます。

### 3. 再発行申請について

登録講習修了証明書・修了証書・英文修了証(以下、「修了証書類」と言います)の再発行を希望される方は、「再発行申請書」に必要事項を記入の上、420円分の切手(簡易書留料+郵送料金)を同封して、研修所まで郵送してください。申請書の受理後、発行手数料1,500円の請求書を発行いたしますので、指定された銀行口座に期日までに入金してください。入金を確認でき次第、修了証書類を再発行いたします。なお、「再発行申請書」はセンターのホームページよりダウンロードしてください。

# 平成24年度 海上防災訓練実施計画

(独)海上災害防止センター 防災訓練所

月/日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	備考				
4月	日						土	日			標準①	土	日				消防①		土	日		土					土	日	祝							
5月			祝	祝	祝	日			標準②			土	日						土	日						土										
6月		土	日				コンビ火災①		更①		土	日							土	日			土	日												
7月	日							土			コンビ火災②		土	日	祝				土	日			更②				土	日								
8月				土	日						土	日							土	日					土	日								8月中旬は施設整備		
9月	土	日						土											祝																	
10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31					
								祝		コンビナート		土	日							土	日															
11月			祝	日						土	日																									
12月	土	日						土			有害物質			消防⑥																						
1月	祝				土	日						土	日	祝																						
2月		土	日										祝																							
3月		土	日																																	

別表1

登録講習コース 標準、消防実習(2日間)、有害物質各コース  
 一般常設コース 上記以外の各コース

専用コース 企業等から依頼を受けて実施するコース

## 平成 24 年度受講料等一覧表

コース名	日程	実施回数	予定者数	受講料・施設利用料 (円)	
標準コース	5 日間 座学 3 日 実習 2 日 (油火・ガ火・油防)	10 回	40 人/回	受講料 (内訳) 施設利用料 計	184,200 (4,725) 課税分 (179,475) 非課税分 14,000 <b>198,200</b>
消防実習コース	実習 1 日 (油火・ガ火)	8 回	10 人/回	受講料 施設利用料 計	61,400  <b>61,400</b>
消防実習コース	実習 2 日 (油火・ガ火)	8 回	30 人/回	受講料 (内訳) 施設利用料 計	117,400 (1,890) 課税分 (115,510) 非課税分 3,500 <b>120,900</b>
更新講習会	1 日のみ座学	4 回	10 人/回	受講料	10,800
海洋汚染対応 コース	5 日間 座学 2 日 実習 3 日 (専門油防を 3 日間)	1 回	30 人/回	受講料 施設利用料 計	174,400 14,000 <b>188,400</b>
コンビナート火災 コース	5 日間 座学 1 日 実習 4 日 (火・火・火・複合)	3 回	30 人/回	受講料 施設利用料 計	216,000 14,000 <b>230,000</b>
コンビナート コース	4 日間 座学 1 日 実習 3 日 (火・火・油防)	1 回	30 人/回	受講料 施設利用料 計	144,000 10,500 <b>154,500</b>
コンビナート火災 マネジメント コース	5 日間 座学 2 日 実習 3 日 (火・火・複合)	1 回	26 人/回	受講料 施設利用料 計	249,000 14,000 <b>263,000</b>
有害物質コース	3 日間 座学 2 日 実習 1 日 (有害)	1 回	30 人/回	受講料 (内訳) 施設利用料 計	115,000 (2,835) 課税分 (112,165) 非課税分 7,000 <b>122,000</b>
旅客船コース	3 日間 座学 1 日 実習 2 日 (火・複合)	1 回	30 人/回	受講料 施設利用料 計	85,500 7,000 <b>92,500</b>

(注) ・更新講習会を除く各コースの受講料には、受講期間中の昼食代が含まれています。

・「標準コース」及び「消防実習コース」、「有害物質コース」の消費税(及び地方消費税)は上記表の右欄の課税分を参照下さい。その他のコースの受講料及び施設利用料は内税表示となっています。

(凡例) 油 火: 油火災消防実習      ガ 火: 液化ガス等火災消防実習  
油 防: 一般的油防除実習      専門油防: 専門的油防除実習  
火 : 船舶又は石油コンビナート及び液化ガス火災消防実習  
複 合: 複合火災消防実習      有 害: 有害液体物質探知、消防実習

↑ FAX : 045-224-4312 ↓

※受付番号 \_\_\_\_\_

## 海上防災訓練受講申込書（登録講習用）

申込日 平成 年 月 日

独立行政法人海上災害防止センター 御中

「受講申込規約」に同意の上、次の訓練について受講したいので申し込みます。

受講者本人又は  
申込責任者 氏名 印

登録講習区分	<input type="checkbox"/> 甲種危険物等取扱責任者講習（消防講習）【消防実習コース（2日間）】 <input type="checkbox"/> 甲種危険物等取扱責任者講習（消防講習・学科講習）【標準コース（5日間）】 <input type="checkbox"/> 安全担当者講習（学科講習） <input type="checkbox"/> 有害液体汚染管理者講習（消防講習・学科講習）【有害物質コース（3日間）】				
コース名	第 回	コース	訓練実施日	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日（ 日間）	
フリガナ	-----	性別	男・女	職名	
受講者氏名		本籍 (都道府県)		生年月日	S・H 年 月 日
受講者現住所	(〒 - )			記入された現住所は、修了証明書に反映されますので現住民票にある住所を正確に記入してください。	
宿泊	訓練前日	訓練期間中	訓練終了日	宿泊なし	(研修所宿泊希望者は希望日を○で囲んでください。)
連絡先住所	(〒 - )			受講に関して、当方より連絡させていただく場合に必要となりますので、実際に申込事務を担当されている方を御記入ください。 （個人でお申し込みされる方は、TEL、あればFAX欄を御記入願います。事業所名、所属部課、担当者名の記載は不要です。）	
事業所名	ビル建物名等、できるだけ詳しく御記入ください。				
所属部課	(内線番号)				
担当者名					
TEL	(該当箇所を○で囲んでください) 代表 直通 携帯 船舶 自宅	F A X			

◎請求書に関するご確認（ご要望があれば通信欄に御記入ください）

請求先	<input type="checkbox"/> 申込責任者	<input type="checkbox"/> 受講者本人
請求書（2名以上の場合）	<input type="checkbox"/> 請求書は1枚に纏める	<input type="checkbox"/> 請求書は分割する
<< 通信欄 >>		

受講問い合わせ・受付窓口

独立行政法人 海上災害防止センター 防災訓練所  
 〒220-8401 神奈川県横浜市西区みなとみらい三丁目3番1号  
 三菱重工横浜ビル 8F  
 TEL 045-224-4321  
 FAX 045-224-4312

※事務処理欄

--

↑ FAX : 045-224-4312

※受付番号 \_\_\_\_\_

## 海上防災訓練受講申込書

申込日 平成 年 月 日

独立行政法人海上災害防止センター 御中

「受講申込規約」に同意の上、次の訓練について受講したいので申し込みます。

受講者本人又は  
申込責任者 氏名 印

コース名	第 回	コース	訓練実施日	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 ( 日間)	
フリガナ	性別		男・女	職名	
受講者氏名	生年月日		S ・ H	年	月 日
宿泊	訓練前日	訓練期間中	訓練終了日	宿泊なし	(研修所宿泊希望者は希望日を○で囲んでください。)
連絡先住所	(〒 - ) ビル建物名等、できるだけ詳しく記入ください。			受講に関して、当方より連絡させていただく場合に必要となりますので、実際に申込事務を担当されている方を記入ください。 (個人でお申し込みされる方は、連絡先住所、TEL、FAX がある場合には FAX 欄の記入をお願いします。個人の方は事業所名、所属部課、担当者名の記載は不要です。)	
事業所名					
所属部課	(内線番号)				
担当者名					
TEL	(該当箇所を○で囲んでください。) 代表 直通 携帯 船舶 自宅	F A X			

◎請求書に関する確認 (ご要望があれば通信欄に記入ください)

請求先	<input type="checkbox"/> 申込責任者	<input type="checkbox"/> 受講者本人
請求書 (2名以上の場合)	<input type="checkbox"/> 請求書は1枚に纏める	<input type="checkbox"/> 請求書は分割する
<< 通信欄 >>		

受講問い合わせ・受付窓口

独立行政法人 海上災害防止センター 防災訓練所  
〒220-8401 神奈川県横浜市西区みなとみらい三丁目3番1号  
三菱重工横浜ビル 8F  
TEL 045-224-4321  
FAX 045-224-4312

※事務処理欄

## 独立行政法人海上災害防止センター受講申込規約

独立行政法人海上災害防止センター(以下、「センター」と言います。)は、防災訓練所で行う各訓練コースの受講その他必要な事項に関し、次のとおり受講申込規約を定めます。

### I 受講申込

- センターでは、先着順に各訓練コースの受講の申込みを受け付けます。受講を希望されても定員に達している場合などには受け付けることができない場合があります。また、コース開催の最低人員に満たないコースについては、やむを得ず開講しない場合があります。
- センターの各訓練コースの受講は、所定の事項が記載された「海上防災訓練受講申込書」(一般用・登録講習用)の提出をもって受け付けます。口頭のみによる申込みはできません。
- 正式な申込みを行う前に、電話連絡等による仮予約を行うことができます。ただし、仮予約はあくまで受講枠を一旦確保することができるものであって、受講を確約するものではありません。仮予約を行った場合でも正式な書面での申込みがない場合には、受講の意志がないものとみなします。年間予約も受け付けていますが、基本的には仮予約の場合と同様の考え方にに基づきます。
- 会社等で受講の申込みをした場合、申込後に受講者の変更を行うことはできますが、それは合理的な理由に基づく受講者の変更のみに認められるものであって、基本的に受講の権利を譲渡することはできません。
- 各コースとも受講するための前提条件はありませんが、受講できるのは、実習訓練等の実施に支障のない健康な方とします。身体能力に重大な影響を及ぼすような持病のある方、過去1年以内に入院経験のある方、若しくは現在通院加療中の方は、原則的に登録講習を受講することができません。

### II 受講料

- 各コースとも受講料及び施設利用料(宿泊料)(以下、「受講料等」と言います。)は、原則的に所定の金額及び方法で事前に納入していただきます。(後泊に関する施設利用料は除く。)事前に納入いただけない場合は、受講を取り消すものとします。ただし、合理的な理由により事前納入できない場合、センターが認めるものについては、コース終了後に納入することができます。
- 受講料等を納入した後に、受講等を取り消す場合は、取り消す時期により所定のキャンセル料が発生します。なお、受講を取り消した場合は、納入された受講料等からキャンセル料を差引き返納することとなります。

### III 受講関係

- 各コースの受講には、センターが発行する正規の受講票が必要です。また、受講票はコース初日の受講生登録時に必ず提示してください。不提示の場合は、受講をお断りする場合があります。
- 受講各コースの開始日の08:30までに、神奈川県横須賀市所在の独立行政法人海上災害防止センター研修所に集合してください。また、コース期間中は、定められた場所、時間に集合してください。遅刻した場合は、受講をお断りする場合があります。
- 各コースとも危険を伴う実習を含んでおり、これら危険等を防止するためにも、コース開催中、受講生にはセンター防災訓練所教官及び職員の指示に必ず従っていただきます。
- 各コースの履修内容を全て修了した受講生には、修了証書を交付します。また、登録講習としての訓練コースではコース終了後に行う判定試験に合格した者に対し修了証書に併せ登録講習修了証明書を発行します。ただし、コース途中で退場・棄権した者には修了証書及び登録講習修了証明書は交付せず、受講料等も返納しません。
- 受講生は予め示された必要物品(作業用衣類を含む。)を携行してください。不携行の場合は基本的にセンター側では貸与しません。

### IV 宿泊施設

- 研修所に付属する宿泊施設の利用には、事前の申込みが必要です。申込みは先着順で受け付けますので、定員に達した場合には、宿泊をお断りします。その場合は、近隣のビジネスホテル等を利用していただくこととなりますが、当センターによる他の宿泊所の斡旋は行っておりませんので、申込み等は各自の責任で行ってください。
- 前日から宿泊する受講生は、コース開始日の前日の15:00~20:00の間に、研修所に入所してください。万一、遅延、キャンセルする場合は、必ず横須賀研修所に電話連絡を入れてください。無断でキャンセルした場合にはキャンセル料が発生します。
- センター宿泊施設は、一般のビジネスホテルではありません。施設利用中は、常駐する管理人の指示に従っていただきます。

### V 禁止事項・免責事項

- センターは、受講生に次に掲げる不正等を発見した場合は、退場を命ずることができるものとします。その場合、修了証書(登録講習修了証明書を含む。)は交付せず、また、受講料等の返納もしません。
  - ・ 他人を偽り受講した場合
  - ・ 著しく訓練コースの進行を妨げた場合
  - ・ コース修了の際の判定試験等において不正行為をはたらいた場合
  - ・ 正当な理由なくセンター教官及び職員等の指示に従わなかった場合
- コース日程、特にコース終了日の終了時刻については、気象海象等の状況により変更する場合があります。センターでは、これに伴う列車、航空券の事前予約変更に関する一切の責任は負いません。
- センターでは講習期間中、受講者に対し一般的な旅行傷害保険を付保していますが、受講生自らの故意による傷害等センター側の過失以外に起因する傷害等については、その責を負えない場合があります。

### VI 個人情報の取扱い

- センターは、本契約に関する個人情報(過去に取得したものを含みます。)を、受講引受けの判断、本契約の管理・履行を行うために利用させていただきます。
- 本契約をお申し込みされる方には、契約の申込みにあたり、センターが個人情報を下記に記載の提供利用の他、上記目的の

ために提供・利用することにつきご同意いただくようお願い申し上げます。なお、ご同意いただけない場合には本契約をお引き受けすることができませんのでご了承ください。

#### 記

- 1, 本契約に関する個人情報の利用目的の達成に必要な範囲内で、業務請負元、保険会社等の第三者に対して個人情報を提供すること
- 2, センター内においての統計資料作成等

#### **注意喚起** <<新型インフルエンザによる訓練中止についてのお知らせ>>

- 訓練期間中、受講生に新型インフルエンザ感染者が発生し、「発熱センターから訓練中止の指導」が出された場合、訓練を中止する場合があります。
- 発熱等、新型インフルエンザの疑いのある方は、訓練参加を見合わせてください。

## **申込書記入要領**

(海上防災訓練受講申込書)

### 《記入要領》

海上防災訓練受講申込書は、次の要領に従って記入してください。

【申 込 日】 実際に申込みを行う日の日付を和暦で記入してください。

【受講者本人又は申込責任者】 受講する本人、又は会社等で受講する場合の申込責任者(担当者)の方が署名、押印してください。

【登録講習区分】 登録講習を受講する場合、受講される講習の種類□欄にチェックマーク(レ点)を記入してください。(例えば、「標準コース」を受講する場合は、上から2番目の□にチェックマーク(レ点)を記入)

【コース名】 受講する講習のコース名(例えば、「第5回標準コース」など)を記入してください。

【訓練実施日】 受講する講習(コース)の開催期間を記入してください。また、括弧内にはその日数を記入してください。

【受講者氏名】 省略漢字等を用いず楷書で丁寧に氏名を記入してください。また、必ずカタカナでフリガナをふってください。

【受講者現住所】 現在、受講者の方の住民票に記載された住所を正確に記入してください。記入された現住所が登録講習修了証明書にそのまま記載されます。

【職 名】 現在就いている職名を一般的な呼称で記入してください。離職中の方は省略して結構です。

【宿 泊】 研修所に付属する宿泊設備の利用を希望する方は、それぞれを○印で囲んでください。(例えば、5/16～20の間実施するコースを受講する場合、5/15に宿泊を希望する方は「訓練前日」に○印、5/16～19の間に宿泊を希望する方は「訓練期間中」に○印、5/20も宿泊を希望する方は「訓練終了日」に○印を、また、宿泊設備を利用しない場合には「宿泊なし」に○印をそれぞれ記入してください。)

【連絡先住所】 正確に宛先となる住所を記入してください。郵便番号も記入願います。

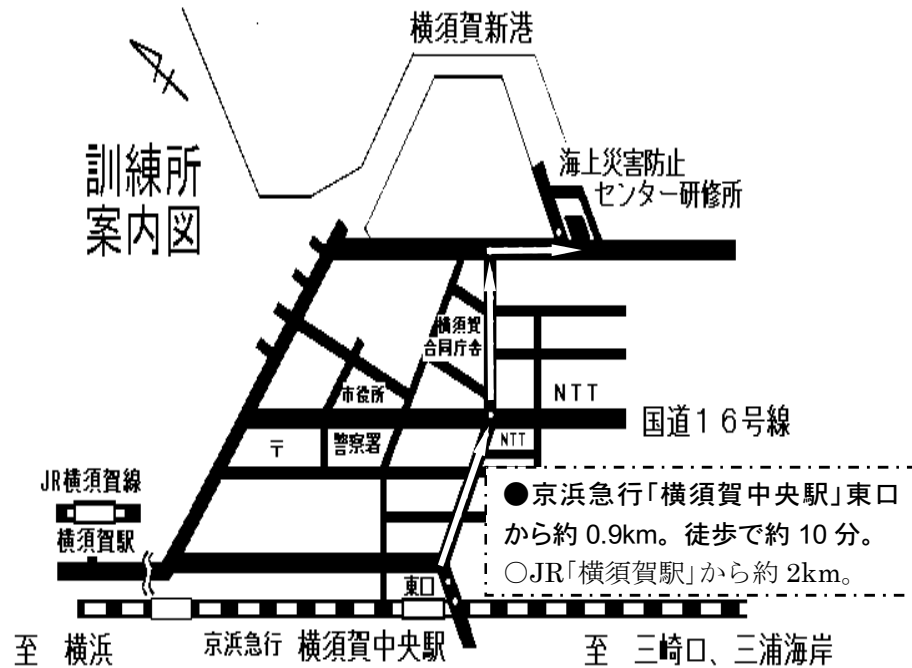
【事業所名、所属部課名、担当者名】 会社等の組織の一員として受講する場合には、事業所名、所属部課名、担当者名のそれぞれを記入してください。個人で受講する場合は、事業所名、所属部課名、担当者名の記入は不要です。

【T E L】 こちらから問合せする場合がありますので、申込日以降、連絡のとれる電話番号と電話の種別(代表、直通、携帯、船舶、自宅)を記入してください。また、FAXをお持ちの方は、FAX番号も併せて記入してください。

【請 求 先】 受講料等の費用請求に関して、受講者本人ではなく申込責任者側(会社等)で支払う場合は、この欄で予め明示してください。

【請 求 書】 同じ会社等で複数名の受講者が受講する場合、請求書を各受講者ごとに分割することが必要な場合は予めこの欄で明示してください。

【通 信 欄】 事前にセンター側に知らせるべき事項がありましたら、この欄を使用してください。



【交通案内】

【航空機で羽田空港利用の場合】

京浜急行「羽田空港駅」から”特急”または”快特”＜三崎口/京急久里浜＞行に乗車(京急蒲田経由)、「横須賀中央駅」下車(所要時間約 55 分)、東口より徒歩 10 分(上図参照)。

【新幹線、その他鉄道利用の場合】

JR・京急「品川駅」から”特急”または”快特”＜三崎口/京急久里浜＞行に乗車、以下同(所要時間約 45 分)。

受講問合せ・受付窓口

独立行政法人 海上災害防止センター防災訓練所（本部）

〒220-8401 神奈川県横浜市西区みなとみらい3丁目3番1号  
 三菱重工横浜ビル8階  
 TEL 045-224-4321  
 FAX 045-224-4312

研修・宿泊施設所在地

独立行政法人 海上災害防止センター防災訓練所（研修所）

〒238-0005 神奈川県横須賀市新港町13番地  
 TEL 046-826-3660／3615  
 FAX 046-826-3822

URL

<http://www.mdpc.or.jp>